

I. 広東省

1. 反腐敗にかかる処分

●先頃、省検察院は収賄罪で彭建文・省安全生産監督管理局党組織書記兼副局長（前河源市長）と李進明・元省広晟資産経営有限公司党組織書記兼董事長（正庁級）の逮捕を決定したと発表（10月31日付『南方日報』）。

2. 第19回党大会関連

●30日、馬興瑞・省長が会計監査庁、商務庁を視察し、第19回党大会の精神を学習・宣伝・貫徹・実行した（10月31日付『南方日報』）。

●30日午前、李玉妹・省人代主任主宰の省人代党組織拡大会議が開催され、党大会の精神、全省指導幹部会議の精神を伝達・学習し、それを貫徹するための意見について検討した（10月31日付『南方日報』）。

●10月31日午後、施克輝・省紀律検査委員会書記主宰の省紀律検査委員会機関理論学習中心グループ会議が開催され、党大会の精神を学習・貫徹した（11月1日付『南方日報』）。

●先頃、南海艦隊党委員会主宰の常務委員会議が開催され、党大会の精神を学習・貫徹し、その措置について計画を立てた。王海・南海艦隊司令官（第19期中央候補委員）、劉明利・南海艦隊政治委員（党大会代表、中將）、傅耀泉・南海艦隊政治工作部主任（少將）等が出席し、党大会に出席した経験とそこで得たものを踏まえながら党大会の盛況ぶりを紹介し、習近平・中央軍事委員会主席が軍隊幹部会議で述べた重要講話の精神を伝達した（11月1日付『南方日報』）。

●1日、馬興瑞・省長主宰の省政府常務会議が開催され、李希・省党書記が党大会の精神を学習・貫徹するための省党常務委員会議で述べた重要講話の精神を伝達・学習。省の海上風力発電を発展させるよう急いで推進し、職務の名称に関する制度改革を深めること等の業務について検討・手配（11月2日付『南方日報』）。

●1日、李希・省党書記主宰の省党常務委員拡大会議が開催され、党大会の精神、政治局集団学習会の精神を伝達するとともに、党大会の精神の宣伝、講演、大学習・大訓練、視察・監督・指導に関する広東省のプランについて審議し採択（11月2日付『南方日報』）。

●4日午前、中央の統一的な段取りに基づき、広州市で中央宣伝・講演団による党大会の報告会が開催され、江金権・国務院国有資産監督管理委員会紀律検査チームリーダーがプレゼンテーションを行なった。李希・省党書記が同報告会を主宰し、講話も行なった。一行は同日午後、荔湾区の社区と広州市電力供給局を訪れ、企業、幹部、民衆と交流を深めた。慎海雄・省宣伝部長も同行（11月5日付『南方日報』）。

●4日、広東省で市・庁レベルの指導幹部が党大会の精神を学習・貫徹するための研修が始まり、李希・省党書記が講話を行なった。馬興瑞・省長が開幕式を主宰（11月5日付『南方日報』）。

3. 省幹部による海外要人との会談等

●30日、鄧海光・副省長がオランダのユトレヒト州副知事一行と会談。広東省側は双方向の投資・貿易、人と文化の交流、農業、科学技術イノベーション等の分野における協力を強化すること、ユトレヒト州側は経済・貿易、観光、教育、文化、農業、環境等の分野における協力を深めることを希望（10月31日付『南方日報』）。

●30日、李春生・副省長が在広州トルコ総領事館の招きを受け、建国レセプションに出席。李副省長は双方が2018年の中国・トルコ観光年を契機として、両国の人々のために空路を便利なものにしていくことを希望した（10月31日付『南方日報』）。

4. 中国・ASEAN諸国による海上救助訓練の実施

●10月31日、湛江沖で上記訓練が成功裏に実施された。何建中・交通運輸部副部長兼中国海上救助センター主任が同訓練の総指揮を執った。袁宝成・副省長兼省海上救助センター主任も参加。このたびの救助訓練は「南シナ海各当事者行動宣言」の枠組みの下で実施された協力プログラムであり、中国とASEAN諸国による初めての大規模な実践型訓練である（11月1日付『南方日報』）。

5. 2017年「世界都市デー」関連イベントの開催

●第4回「世界都市デー」の10月31日、広州市で2017年「世界都市デー」グローバル・ホーム・イベントが開催され、王蒙徽・中国住宅・都市・農村建設部長、ジョアン・クロス国連ハビタット事務局長、馬興瑞・省長、時光輝・上海市副市長、温国輝・広州市長、在中国南アフリカ大使が開幕式に出席するとともに、挨拶を行なった。このたびのイベントには中国、英国、ドイツ、カナダ等40以上の国と地域、国際機関の関係者、市長、学者380人余りが来賓として出席するとともに、「都市ガバナンス、開放的イノベーション」という今年度のテーマをめぐって、都市の発展に関する問題の解決、交流・協力の強化、都市の持続可能な発展の促進について検討・討議を行なった（11月1日付『南方日報』）。

6. 惠州市とエクソンモービルが戦略的提携

●1日午後、惠州市政府、惠州市大亜湾開発区管理委員会、エクソンモービルが惠州石油化学工業コンプレックス・プロジェクトの戦略的協力枠組み協定と了解覚書に署名。馬興瑞・省長、ニール・チャップマン・エクソンモービル・ケミカル社長、トーマス・デーマン同副社長が署名に立ち会った（11月2日付『南方日報』）。

7. 第6回中国（惠州）IoT・クラウドコンピューティング技術応用博覧会（雲博会）の開催

●1日、上記博覧会と2017中国携帯電話イノベーション・ウィークが開催され、その一環として、2017中国スマート・エコ・イノベーション大会ならびに第5回中国スマホ・デザイン・応用イノベーション大賞（スワン賞）の受賞式も同時に行われ、55の作品が同賞を受賞した。同博覧会には中国、米国、ドイツ等、国内外から専門家が招かれ、「製造イノベーション」関連の講演を行なった（11月2日付『南方日報』）。

8. 李希・省党書記が第3回党大会記念館を見学

●2日午後、李希・省党書記が越秀区にある同記念館を見学し、党による革命の輝かしい歴史的道程を振り返り、革命の先達たちの崇高な精神を学習し、次のように強調した。習近平・総書記が上海市の第1回党大会記念館、浙江省嘉興南湖紅船を見学した際に述べた重要指示・要求を深く貫徹し、初心を忘れず、使命をしっかりと銘記し、永遠に奮闘し、広東省は「2つの100年」奮闘目標と中華民族の偉大な復興という中国の夢を実現するために、貢献しなければならないと強調。見学後、越秀区の白雲街道を訪れ、末端の党組織責任者、古くからの党员、社区の人々と親しく交流し、末端の党建設に関する状況を聴取（11月3日付『南方日報』）。

9. 李希・省党書記が広州市を視察

●2日～3日、李希・省党書記が広州市の越秀区、天河区、海珠区、黄埔区、南沙区の企業、社区、港湾、自貿区を訪れ、同市の経済・社会発展状況について詳しく理解を深め、党大会の精神の学習・貫徹に関する指導・視察を行なった（11月4日付『南方日報』）。

10. 省政府代表団が黒龍江省を訪問

●2日～3日、馬興瑞・省長率いる省代表団が黒龍江省を訪れ、ペアリング協力・交流活動を行い、党大会の精神、東北地域と東部の一部の省・市の協力に関する中央の全体的な手配を深く貫徹し、実務的かつ効果的な協力を推進した。張慶偉・黒龍江省党書記、陸昊・黒龍江省長も同行（11月4日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 反腐敗にかかる処分

●先頃、省検察院は収賄罪で譚衛・元広州市照明建設管理センター主任（市副局級）の逮捕を決定したと発表（1月2日付『南方日報』）。

2. 広州市第3四半期の経済動向

●30日、市統計局が発表したデータによれば、GDP総額は約1.55兆元、同成長率は前年同期比7.3%増、三大支柱産業の生産総額は自動車と同9.4%増、電子製品が同6.9%増、石油化学工業が同8.9%減だった。同市の経済成長に対する第3次産業の貢献率は82.4%に達し、付加価値額では情報・ソフトが同24.3%増、交通・物流・商品保管倉庫・郵政が同19.1%増、金融が同8.3%増と伸びている（10月31日付『広州日報』）。

2. 2017年「世界都市デー」関連

●10月31日、任学鋒・市党書記がジョアン・クロス国連ハビタット事務局長一行と会談し、同部門には広州市の発展により一層注目していただき、ハイレベル会議の開催、国際交流、同市の国際的な影響力を高めること等における協力を深めたいと伝えた（11月1日付『広州日報』）。

●10月31日午後、温国輝・市長がニコラス・ロッセリーニ在中國UNDP代表と会談し、国連の関連機関との協力を強化し、国際的な展覧会やイベントを共同開催すると同時に、他の都市の経験も学びたいと伝えた（11月1日付『広州日報』）。

3. 第19回党大会関連

●2日、任学鋒・市党書記主宰の市党常務委員会会議が開催され、第19期中央政治局会議、中央政治局第1回集団学習会、省党常務委員会会議の精神を伝達・学習。また、第11期市党委員会による第1回巡察状況について聴取し、次の業務を手配（11月3日付『広州日報』）。

III. 深圳市

1. 深圳市第3四半期の経済動向

●29日、市統計局が発表したデータによれば、GDP総額は約1.54兆元、同成長率は8.8%増、付加価値額は第1次産業が約13億元（同25.6%増）、第2次産業が約5961億元（9.3%増）、第3次産業が約9433億元（8.4%増）、産業構造に関し、GDP総額に占める第2次産業と第3次産業の割合はそれぞれ約39%、約61%だった（10月30日付『深圳特区報』）。

2. 市政府常務会議の開催

●30日午後、陳如桂・市長主宰の上記会議で、技術改造倍增計画を実施し、工業への有効な投資を拡大することに関するアクションプラン（2017年～2020年）と若干の措置について審議し採択（10月31日付『深圳特区報』）。

3. ベイバレー・グローバル・クリエイター資源共有プラットフォームの設立

●30日、中国では初となる女性起業家が主導となって、国境や地域を超えた各種資源の融合に注力することを目的とした大衆による起業プラットフォームの設立が発表された。同プラットフォームは科学技術、金融、教育、医療、AI、ビッグデータ、インターネット、IoT等の分野に焦点化して、初めて起業するチームやグループ等にオフィスのシェア、インキュベーション、国内外の資源マッチングの機会を提供するワンストップ式の起業

空間である。専門家で構成された強力な頭脳集団に対してだけでなく、このプラットフォームに参加したいチームには会社の登録から法律サービス、業務の開拓、公的な関係の構築までワンストップ式のサービスを提供していく。同日、全国各地の女性企業家協会の責任者、女性企業家代表、関連する協力パートナー等、各界の有識者100人以上が一堂に会し、同プラットフォーム、深圳市とロシアの各女性企業家協会、広東・香港・マカオ・ベイエリア経済貿易協会等による戦略的協力の署名に立ち会った（10月31日付『深圳特区報』）。

4. 陳如桂・市長が女子テニス協会（WTA）CEO一行と会談

●10月31日、陳如桂・市長がステイブ・サイモン女子テニス協会CEO一行と会談し、双方は深圳市がWTA 2019年～2023年シーズンのファイナルマッチの開催権を申請し、広くテニス競技やイベントを共同で開催していくことについて、踏み込んだ意見交換を行なった（11月1日付『深圳特区報』）。

5. 前海・蛇口エリアに華南地域初の外資独資企業が設立

●先頃、BEAユニオン投信が広東自貿区前海・蛇口エリアに外資独資企業のBEAユニオン投信（深圳）有限公司を正式に設立した。同社はすでに上海自貿区で個人の資産管理サービスを目的とした外資独資企業（PFM WFOE）を設立しており、このたびで2か所めとなる。このPFM WFOEの設立は中国の証券業界が対外的に開放されていることを示すバロメーターであり、2015年に始まった第7ラウンドの「米中戦略的経済ダイアログ」、「英中経済・財政・金融ダイアログ」の成果である（11月1日付『深圳特区報』）。

※BEAユニオン投信（BEA Union Investment Management Limited）：香港の東亜銀行とドイツの資産運用会社であるユニオンが2007年に設立した合弁ファンドハウス。

※PFM：Personal Financial Management、個人資産管理サービス。

※WFOE：Wholly Foreign Owned Enterprise、外資独資企業。

6. 人材パークの開園関連イベント、全市人材業務会議の開催

●1日、「深圳経済特区人材業務条例」が正式に施行され、深圳市は11月1日を「人材デー」として法律で定めた。同日午後、上記イベントと陳如桂・市長主宰の上記会議が開催され、王偉中・市党書記が出席するとともに講話を行なった。また、市人材集団有限公司と深圳千里馬国際狩頭会社が、全国で初めて人材を主眼に置いたテーマパーク内に設立されたが、これは国際的な一流の人材グループの構築を意味する（11月2日付『深圳特区報』）。

7. ビル&メリンダ・ゲイツ財団国際慈善事業部総裁一行が深圳市の企業を訪問

●先頃、上記一行が南山区のSEA SKY LAND（深圳市海雲天科技株式有限公司）と遊忠恵・董事長を訪問し、ロバート・ローゼン総裁は、教育、健康、環境保護、慈善事業等、多分野で同社と更に多くの協力を深めていくと述べた（11月4日付『深圳特区報』）。